



色で職場コミュニケーションの活性化を!

株式会社
マーブルイノベーション
代表取締役 松尾 久美子

近年、組織における「人」の課題はますます増加し、複雑化するばかりです。テクノロジーが進化しAIの活用で業務効率が進む中でも、人が人と関わり、人を動かす必要性は不変であり、その影響はさらに大きくなるでしょう。

ここでは、相手に気持ちよく動いてもらえる関わり方のヒントを、**色彩と行動心理学を融合したコミュニケーション法「色コミメソッド」**を用いて、“5レンジャー”になぞらえた5つのタイプ別に解説します。

現状の課題

「なぜいつも提出が遅いの?」「なぜ確認もなく進めてしまうのだろう?」仕事をしていると、相手に対するこんな不満や憤りを感じることもあるでしょう。とはいえ、強く言いすぎると“ハラスメント”になるのではないかと怯えてしまう管理職が多いのも最近の傾向です。

部下育成がうまくいかないのには理由があります。例えば、相手のやる気スイッチや得意を無視し、自分のやり方を押し付けたり全員を一律で指導したりしていませんか?「相手に合わせた指導」が部下育成の成功の秘訣です。



取り組むべきポイント

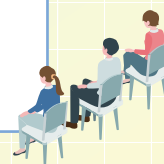
相手の特性に合わせたコミュニケーションのとり方や関わり方を知って、心理的に安全な職場を作り、気持ちよく動いてもらいましょう。研修では、行動パターンを基に性格タイプを色で分ける「色コミレンジャー診断」を通して、5つのタイプ別の特徴や具体的な接し方を身につけます。

- ・結果にコミット!の赤レンジャーには、細かな指示はせずに任せる
- ・冷静・沈着・戦略家の青レンジャーには、達成までの計画を立ててもらおう
- ・ムードメーカーの黄レンジャーには、束縛禁止で枠を超えたチャレンジを
- ・安定感No.1の緑レンジャーは、労いを忘れず、考えや想いをよく聴いてあげる
- ・気配りNo.1のピンクレンジャーとは、日常会話で心の距離を近くする



実践の成果

少し意識して関わり方を変えるだけで、「不満を言いながら動いていた相手がすんなり動いてくれるようになった」「最近、楽しそうに仕事をするようになった」などと喜びの声をいただきました。中でも一番多いお声が「色コミレンジャー診断を社内でも実施したら、共通言語ができて盛り上がった」というものです。こういったツールをうまく活用することで、職場コミュニケーションが活性化し、互いに尊重しながら仕事ができ、結果的にイキイキと働く人が溢れた“成果を出せる自律型組織”になるのではないのでしょうか。



松尾講師が登場する「自然総研セミナー」

松尾講師は、「**主体性を育てるセルフマネジメント研修**」(9月10日開催)に登壇します。本セミナーでは、自分をマネジメントするスキルを通じて、日々の業務を「やらされる仕事」から「自分の成長のチャンス」へと変えるヒントを学びます。



★本研修は、法人会員特典としてお渡ししている「特別ご招待券」をご利用いただけます★

申込みはこちらから